

知っているようで知らない  
知らないと損をする

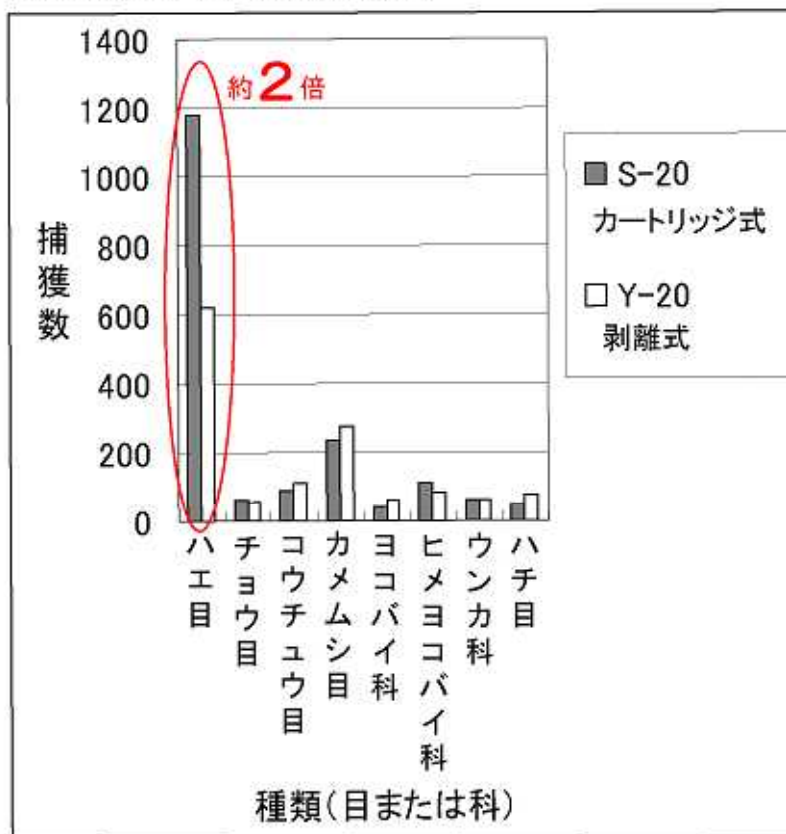
# ムシポンの豆知識



## 性能試験 I

### 捕獲性能試験

(財)日本環境衛生センター調べ、当社製品比)



試料: MPS-2000 2台

捕虫紙S-20(カートリッジ式、緑)

捕虫テープY-20(剥離式、黄色)

試験期間: 1反復目 平成21年8月17日

2反復目 平成21年8月18日

3反復目 平成21年8月19日

4反復目 平成21年8月25日

試験場所: マンション1階ベランダ(神奈川県三浦郡葉山町)

試験方法: 捕虫器2台を1m離して設置。点灯後3時間で捕虫紙を回収し、実体顕微鏡下で科または目レベルまでの同定。試験は捕虫器および配置位置を反復の都度交換し、4反復実施。

## 耳よりコラム①

### “粘着力”と“接着力”

ムシポン捕虫紙に使用されている糊は「粘着力」の高い糊です。一方で、「接着力」という言葉がありますが、これは「粘着力」と似ているようで全く異なります。たとえば、剥離ラミネート紙をはがして使用するようなタイプのトラップは多くのものが「粘着力」ではなく「接着力」の強い糊を使用しています。

「接着力」が強い糊はいわば「保持力(=キープ力)」が強いので、一度捕えた虫を逃さないことに優れています。しかしながら、虫がちよっと触れた程度では捕獲できません。虫が6本足でしっかり着地しようとしないと捕獲できないわけです。そのため、歩行虫用トラップなどに適しています。

対して、「粘着力」が強い糊は、「保持力」はやや落ちますが、虫の足1本、羽1枚がちよっと触れた程度でもしっかり捕獲できます。つまり「粘着力」の強い、やわらかくて分厚い糊を使用するムシポン捕虫紙は、「接着力」が強い糊を使用した場合に比べて、飛翔昆虫の捕獲力に断然優れているのです。

## 耳よりコラム②

### “エキダレ”ってなに?

あまりにネバネバで強力な粘着剤をたっぷり使用しているからでしょう、「ムシポン捕虫紙は液ダレするんですか?」「エキダレ??」なかなか聞きなれない言葉ですが、「液」がたれるわけですから、恐らく捕虫紙の粘着剤がたれることがあるかどうかを、お客さまはお聞きになりたかったのかと思われます。

結論を言います。ムシポン捕虫紙はエキダレしません。

試験の結果、室温80℃的环境下でも、ムシポン捕虫紙の粘着剤が自重で落下、滴下することはありません。

しかし、大型の昆虫が息をし、かつ室温が高いという条件が揃うと、捕らえた虫が自重で「落下」もしくは「すり落ちる」、場合によっては、「逃亡する」ことがあります。

ムシポン捕虫紙はやわらかく分厚い粘着剤を使用しておりますので、このようなことがあります。申し訳ありません。

ただ、周知のとおり、食品の現場で異物混入リスクが高いのは大型の昆虫よりも小型・中型の昆虫です。このためムシポン捕虫紙はこれらを捕獲するのに最も適した樹脂配合としております。